

Wibell

発行所 岩室村役場
印刷所 卷・北洋印刷KK

No. 1 -

本達は事業五ヶ年計画の実現に着手され、その事業第一として中学校の統合がなされた。これがおりこまれた。そこには教育委員会による問題が重きを占めていた。これは問題であるだけに、慎重を期して三十五年度頭からこの研究に着手し、種々の試験を加えた結果統合は可能であると結論に達したので、直ちにP.R.を行なうことが最も重要な決策問題であると結論づけられた。これらの準備にとりかかる

（実施の状況は二面の総括評議會の概要一覽表をご覧願いたい）
尚P.R.の結果についての教員委員会が各部落に於ける大々的影響は、村民各位との話し合いから重く受けた印象は、委員の話をよく理解され統合に対しても大体において賛成であるととうかとれた。

二、新村建設促進協議会結成及び全小委員会結成

前段において述べたP.R.の結果から得た判断に基づき、中学校統合を促進するため、又統合に関する具体的なの計画を立てた。

講会代表	渡辺修
本間	佐藤茂
池上	山本芳太郎
本間	政己
十郎	
教委代表	石塚惣吉
堀内仁三郎	
区長代表	本間八十太郎
田中	吉方大沢金一郎
篠原	治藏
早川喜五郎	河部喜八郎
P.T.A.代表	竹内重雄
田中	四郎
後藤	武田こう
大岩	田中高蔵
修作	
農業委員代表	
青年団代表	田中代午郎
農業委員代表	中村栄一

田中商事の工場園整備法の制定に基づき、最近中央に於ける大工場が地方進出をはかると共に、地方に於いてもこの説による工業開拓が積極化しておしますが、本村に於いても、その線に沿え、総合的な村の発展に資するため、積極的にこの説政に付いて尽力してまいりましたが、この度東京に本社をする田中商事株式会社新潟工場を設立することになりました。

場誘致に成功す。尚今後于に於ける御協力を頗り度いと存じます。

明治 31年(1908)3月14日生	鈴田 謙治(和納)	境
大正 6年(1917)6月30日生	山田 吉衛(西中)	新
明治 44年(1911)11月16日生	山本芳太郎(間瀬)	新
明治 36年(1903)4月2日生	堀越千代松(北野)	新
大正 6年(1917)10月6日生	池田 瞳(西長島)	新
明治 43年(1910)3月4日生	有坂金次郎(石淵)	現
明治 34年(1901)8月2日生	鈴木 直市(久保田)	現
明治 36年(1903)8月21日生	(立候補届出願による)	

中学校統合校舎の建設計画について

3月3日は耳の日です。学童の耳を調べると、本人、父兄教師の知らない難聴耳が多いそうです。少しでも耳の遠いような感じをうけたら専門医にかかりましょう。その他耳だれは慢性中耳炎、はしか、急性伝染病の後には難聴になりやすい、耳の上の手で叩くと鼓膜を傷つけやすい。のどや鼻から污水が耳管を通して耳に入り中耳炎になりやすいなど注意が必要です。污水が耳の穴から入って、中耳炎になるのではなく、鼻から耳管を通って入るのが恐いことに御注意下さい。

三中學統合校建設を 万場一致で確認

をしていただき統合をスムーズに進めるために、三十七年四月三日新村建設促進協議会が結成された。協議会の結成は議会議員、教育委員、部落代表、各種団体代表、学識経験者を以て組織し、外に村内各小学校長を参与とした。務所は役場内におかれている。

委員九十七名、参与六名、会長は金子佐氏、会長職務代理渡辺修氏。三十七年六月二十七日全会委員会が結成された。構成員は次の通りである。

○小委員会委員名

農協漁協代表	本田 フイ	赤川 綾子
堀越 儒一	田中 一郎	
中島 伸吉		
商工会代表	五十嵐寛一郎	
学識経験者	後藤 清一	
三、三中学校統合		
の確認		
新村建設促進協議会ではまだ		
二回（三十七年六月七日）		
会議において三中学校統合の		
校の建設を万場一致で確認す		
し、小委員会を結成して具		
体的な件について検討する		
ことに決定した。		

農業委員無投票當選
本年二月二十七日で任期満了と、村長の選任による委員会選舉は、二月十日に告示され、十三日の立候補〆切までに定数の二五名を越える会が推薦した学識経験者五人以内によって構成され、十七名の立候補届出及び推薦届出がありました。その後、二人の辞退者があり、補立候補者もなかつたため、十七日の投票日に投票が行なわれず、立候補された一五名は、無投票当選されました。
從来委員の定数は二五名と規定され、和納並びに岩室、間瀬と二地区で選舉が行なわれましたが、今回は

農業委員会選舉
農業協同組合及び共済組合が、組合ごとに推選した理事各一人と、議員で定数の二五名を越える会が推薦した学識経験者五人以内によって構成されます。

田中 吉方（夏井） 現
小林 甲一（橋本） 現
大正3年3月6日生
國原賢一郎（岩室） 新
明治37年9月23日生
野水 利作（高畑） 新
大正8年2月23日生
田中代午郎（和納） 現
明治36年12月10日生

新村建設促進協議会 三中学統合校建設を

万場一致で確認

な諸問題について研究協議をして、進めるための協議会が結成された。議員、部族代表、各類団体代表、学識経験者を以て、トトロイド、トトロイド、トトロイド

婦人会代表	本田 ツイ	後藤
疊協議協代表	赤川	さき川
頼越信一	大岩	大岩
中島仲吉	安平	安平
商工会代表	五十嵐寛一郎	五十嵐寛一郎
學識経験者	後藤 清	後藤 清

農業委員無投票當選
本年二月二十七日で任期満了による農業委員会委員長と、村長の選任による委員会による農業委員会委員長（農業院内組合及び農業院外組合が組合ごとに選出され、三日の立候補〆切までに定数の五名を越す会が准認した学識経験者五七名の立候補届出及び准許人以内）によって構成された。

農業委員無投票當選

本年二月二十一日
選舉は、二日
で定數の二
十七名の立候
應届出があり
の後、二人の
より、補充立候
たため、十七名
は、投票が行
補候された二
票当選されま
だれも當選され
從来委員の定
規定され、和
室、間障等、
行なわれま
條例の改正し
の定數とされ
選舉区に定め
委員の構成に
回當選され
場誘致に
す。尙今後
を願い度いと
工場用地 和
工場用地 和
用地面積 四
工場建坪 二
工事完了予定
昭和三十八年
(但し第三
末日)
操業予定期月
昭和三十八年

と、村長の選任による委員会（農業協同組合及び、農業共済組合が、組合ごとに推選した理事、各一人と、議会が推薦した学識研究者五人以内）によって構成されます。

田中 吉方（夏井） 現
明治43年10月14日生

小林 甲一（橋本） 現
大正3年3月6日生

國原賢一郎（岩室） 新
明治37年9月23日生

野水 利作（高畠） 新
大正8年2月23日生

田中代午郎（利納） 現
明治36年12月10日生

永塚 順一（宮岡） 現
明治43年10月6日生

樋口 末太（和納） 現
明治43年1月23日生

竹内市三郎（和納） 現
明治31年3月14日生

鍔田 謙治（和納） 現
大正6年3月30日生

山田 吉衛（西中） 新
明治43年11月16日生

山本芳太郎（間瀬） 新
明治36年4月2日生

堀越千代松（北野） 新
大正6年10月6日生

池田 啓（西長島） 新
明治34年8月2日生

鈴木 直市（久保田） 現
明治36年3月4日生

有坂金次郎（石瀬） 現
明治34年8月21日生

（立候補届出願による）